

## 12月 全校朝会

12月になりました。今年は、三年生の修学旅行をはじめ、各学年の宿泊行事が予定通り実施できました。また、体育祭や合唱祭といった各行事もそれぞれ充実したものとなりました。皆さんの頑張る姿をいろいろな場面で見せてもらいました。先週の29日、本校を会場として授業研究会が行われ、教育委員会の先生や他校の先生方が皆さんの授業を見に来ました。参観された先生方から、たくさん褒めていただきましたので、皆さんに紹介します。まず、「挨拶がよい」来校された先生方に元気よく挨拶ができた人が多かったようです。次に「授業に真剣に取り組む姿勢がある」私も、公開した3つの授業の様子を見て回りましたが、どのクラスもしっかりと学習に取り組んでいました。そして、「学校がきれい」これは、皆さんが日々取り組んでいる磨心清掃の成果だと思います。もちろん、公開授業ではない、自習のクラスの皆さんの姿勢もよかったです。

さて、今日は2つお話しします。1つ目は、磨心清掃についてです。3年前から石南磨心清掃と名付け、取り組んできました。清掃長さんを中心に毎日よくやってくれていると思います。先ほど話したとおり、来校された方からも「学校がきれいですね」と褒められることが多いです。ですが、3年続けてきたので、レベルは高いものになっていると思いますが、ややマンネリ化というか、なんとなく清掃の時間がすぎている、ということもあるように思います。もう一步、この活動の「レベル」「質」を高められないか、と考えています。実は、先日、生徒会担当の藤田先生に、本庄市立本庄東中学校に行ってもらいました。清掃活動の様子を見てきてもらうためです。この学校はずいぶん前から清掃に力を入れていて、いろいろな学校から先生や、生徒の代表が視察に来るような学校です。清掃の様子を見せてもらったり、代表の生徒との協議をしてきてもらったりしました。藤田先生から、生徒会の皆さんへ情報提供してもらいますので、生徒の皆さんも、ぜひアイデアを出し合い、よりよい活動にしていくことを考えてください。生徒会本部役員や清掃長さんだけが考えるのではなく、全校の皆さんで考えて欲しいと思います。

2つ目の話は、世界人権デーについてです。12月10日は世界人権デーです。1948年12月10日、世界人権宣言が、国連総会で採択されました。これを記念して、1950年に毎年この日に記念行事を行うことが決議されました。これを受けて、日本では、昨日、12月4日から10日までの1週間を人権週間としています。

人権については、これまでも学習をしてきたと思いますし、私も何度もお話

をしています。「人権感覚」についてです。「人権感覚」とは、わかりやすく言うと「人権が守られている状態をよいことと感じ、反対に人権が侵害されている状態に気づき、それはだめだよと言える」という感覚のことです。

「自分がされて嫌なことはしない、自分が言われていやなことは言わない」ということを、全校朝会で繰り返しお話をしています。基本はこれだと思います。ただ、先月もお話したのですが、気づかないうちに友達を傷つけてしまう、ということもあります。これを少しでも減らしていくためには、皆さん一人一人がしっかりと「人権感覚」を身に付けていくことです。「調子に乗って」とか、「つい冗談で」言った言葉が、相手をとっても傷つけてしまう、ということはあると思います。そういうことを言わない、しないことはもちろんですが、そういう場面で、「それはだめだよ」と言い合える、そんな学級、学年になって欲しいです。みんなの人権感覚が高まれば高まるほど、学校はととても過ごしやすい、居心地のいい場所になるはずです。

今学期も残すところあと3週間です。1年のしめくくりをしっかりと、新しい年を迎える準備をしましょう。

校長 大澤 聡